

2023年度環境経営レポート



2023年8月竣工

(対象期間：2023年7月～2024年6月)



発行日：2024年9月30日

I. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

船越工務店株式会社

代表取締役 船越 裕司

(2) 所在地

本社・資材倉庫 〒656-0313 兵庫県南あわじ市松帆志知川621番地

資材及び廃棄物置き場 〒656-0313 兵庫県南あわじ市松帆志知川海田904

(3) 事業内容

建設業（建築・土木一式）

許可番号 兵庫県 第801388号 許可年月日 令和4年2月4日

許可期限 令和9年2月3日

(4) 事業の規模

設立 平成3年1月10日

資本金 2千万円

売上高 1.7億円（令和5年度実績）

各事業所の規模

	本社	資材倉庫	資材及び廃棄物置き場	合計
従業員	7名	無人	無人	7
延べ床面積（㎡）	124	200	300	624

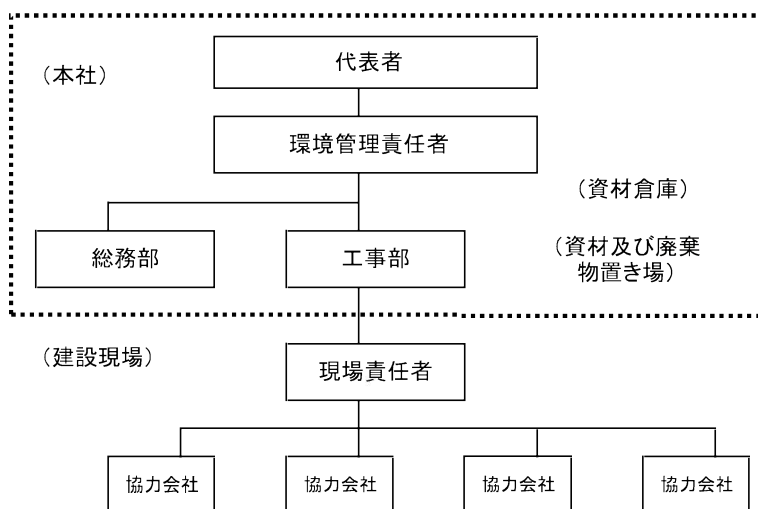
(5) 実施体制図及び役割・責任・権限（2ページ参照）

(6) 事業年度 7月～翌年6月

II. 認証・登録の対象範囲

全組織・全活動

実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 (工事代理人)	・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

Ⅲ. 環境経営方針

当社は、建築工事・土木工事の各事業分野において、地球環境の保全のために環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン、軽油）
3. 事務所での廃棄物の削減を推進します
4. 建設現場等での廃棄物の削減、建設リサイクル、再生資源の利用を推進します
5. 水使用量の削減を推進します
6. 施主に対し環境配慮型商品の情報提供を積極的に行うとともに、環境に配慮した施工技術の開発と提案を推進します
7. 本方針を全従業員に周知徹底します
8. 環境経営システムを維持し、継続的改善を図っていきます

制定日：2014年7月1日

改定日：2020年4月1日

代表取締役 船越 裕司

IV. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	20,391	26,002	25,925
電力	kWh	6,114	6,622	6,566
ガソリン	L	4,541	5,165	4,735
軽油	L	2,779	4,284	4,644
廃棄物排出量				
一般廃棄物	kg	91	70	70
産業廃棄物	kg	19,482	27,620	19,386
水使用量	m ³	131	130	138

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、2017年基準（新中期目標）より0.418kg-CO₂/kWh を使用する。

注) 化学物質は使用していない。

V. 環境経営中長期目標及びその実績

(1) 目標

年 度		2021年度 基準	2022年度 △1%	2023年度 △2%	2024年度 △3%
I. 二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	20,391	20,187	19,983	19,779
電力使用量削減	kWh	6,114	6,053	5,992	5,931
ガソリン使用量削減	L	4,541	4,496	4,450	4,405
軽油使用量削減	L	2,779	2,751	2,723	2,696
II. 廃棄物排出削減					
一般廃棄物削減	kg	91	90	89	88
産業廃棄物の削減	kg	19,482	19,287	19,092	18,898
III. 水使用量	m ³	131	130	128	127
IV. 環境配慮工法の開発と提案	件	49	50	51	52

注) 化学物質を使用していないため、目標を設定していない。

(2) 2023年度実績

項 目 \ 年 度		2021年度	実 績			
			2023年度（2023年7月～2024年6月）			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	20,391	19,983	25,925	77%	×
電力 使用量削減	kWh	6,114	5,992	6,566	91%	△
ガソリン 使用量削減	L	4,541	4,450	4,735	94%	△
軽油 使用量削減	L	4,292	4,206	4,644	91%	△
II. 廃棄物排出 削減						
一般廃棄物削減	kg	91	89	70	127%	○
産業廃棄物削減	kg	19,482	19,092	19,386	98%	△
III. 水使用量	m ³	131	128	138	93%	△
IV. 環境配慮工 法	件	49	51	56	110%	○

注) 評価欄にて、○：達成（達成度100%以上）、△：やや未達成（同100%未満から90%以上）、×：未達成（同90%未満）

VI. 環境経営計画

取り組み計画	担当者
二酸化炭素排出量の削減	
・ 電力・ガソリン・軽油使用量の削減 (各項目による)	総務部
電力使用量の削減	
・ 空調温度の適正化 (冷房27℃暖房20℃)	総務部
・ サーキュレーターの使用	総務部
・ 不要照明の消灯	総務部
・ 設備の空転禁止	総務部
ガソリン使用量の削減	
・ アイドリングストップ	工事部
・ 急加速・急停車の防止	工事部
・ リモートワークの推進	工事部
・ 効率的な移動	工事部
軽油使用量の削減	
・ 重機の空ふかしの禁止	環境管理責任者
・ アイドリングストップ	環境管理責任者
・ 空気圧、オイル等の点検	環境管理責任者
一般廃棄物の削減	
・ ミスコピーの防止と再利用	総務部
・ 分別の徹底	総務部
・ 社内共有ホルダでペーパーレス化	総務部
・ リサイクルの推奨	総務部
建設リサイクルの推進	
・ 分別によるリサイクル推進	工事部
・ 仮設資材の再利用の推進	工事部
(産業廃棄物について)	
・ 再生資源化施設への搬入	環境管理責任者
・ 素材ボックスの設置	環境管理責任者
・ 保管場所の掲示板を設置	環境管理責任者
・ マニフェスト管理	環境管理責任者
水使用量の削減	
・ 節水の周知徹底	総務部
・ 節水シールの貼り付けと ポスター掲示	総務部
・ 植物への水やりは雨水を利用	総務部
環境配慮工法の開発と提案	
・ 工事分野別の技術・ノウハウの収集	工事部
・ 環境に配慮した商品と技術を施主に提案	工事部

VII. 取組結果の評価と次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況				評価結果と今後の取組内容
	9月	12月	3月	6月	
電力使用量の削減					(目標やや未達成)
・空調温度の適正化 (冷房27℃暖房20℃)	◎	◎	◎	◎	クールビズを行い温度管理を行っている。ON/OFF時の電力消費が大きいので猛暑時には常時ONで管理した。今後も継続。
・サーキュレーターの使用	◎	◎	◎	◎	空調と同時使用し空調効果が上がった。今後も継続。
・不要照明の消灯	◎	◎	◎	◎	不要照明の消灯を徹底する。今後も継続。
・設備の空転禁止	◎	◎	◎	◎	必要に応じての運転と点検を徹底する。
ガソリン使用量の削減					(目標やや未達成)
・アイドリングストップ	◎	◎	◎	◎	実践できているが更に徹底意識を持つ。
・急加速・急停車の防止	◎	◎	◎	◎	普段より安全運転に注意できた。今後も継続。
・リモートワークの推進	◎	◎	◎	◎	会議や打ち合わせなどリモートワークを推進。今後も継続。
・効率的な移動	◎	◎	◎	◎	乗り合わせと遠方への出張は公共機関を推奨。今後も継続。
軽油使用量の削減					(目標やや未達成)
・重機の空ふかしの禁止	◎	◎	◎	◎	現場での意識付けはできている。今後も気をつける。
・アイドリングストップ	◎	◎	◎	◎	実践できている。今後も継続。
・空気圧、オイル等の点	◎	◎	◎	◎	定期検査時には行っているが現場でも徹底していく。
一般廃棄物の削減					(目標達成)
・ミスコピーの防止と再利用	◎	◎	◎	◎	不要受信FAXをパソコンでチェックしペーパーレス化を行った。ミスコピーの裏面使用徹底。今後も継続。
・分別の徹底	◎	◎	◎	◎	分別の徹底を行う。缶の持ち帰りを行った。今後も継続。
・社内共有ホルダでペーパーレス化	◎	◎	◎	◎	パソコン上で書類を共有。今後も継続。
・リサイクルの推奨	◎	◎	◎	◎	空き缶や段ボールなどはリサイクルに努めて搬入。今後も継続。
産業廃棄物の削減					(目標やや未達成)
・分別によるリサイクル推進	◎	◎	◎	◎	できているが今後もリサイクル率向上に努める。
・仮設資材の再利用の推	◎	◎	◎	◎	仮設資材は再利用している。今後も継続。
(産業廃棄物について)					
・再生資源化施設への搬	◎	◎	◎	◎	再資源化施設への搬入に努める。
・素材ボックスの設置	◎	◎	◎	◎	分別しつつ再利用の促進を促す。今後も継続。
・保管場所の掲示板を設	◎	◎	◎	◎	保管基準の遵守。今後も継続。
・マニフェスト管理	◎	◎	◎	◎	契約書とマニフェスト管理の徹底。今後も継続。
水使用量の削減					(目標やや未達成)
・節水の周知徹底	◎	◎	◎	◎	新入社員を含め意識の徹底をはかる。
・節水シールの貼り付け とポスター掲示	◎	◎	◎	◎	新入社員を含め意識の徹底をはかる。
・植物への水やりは雨水 を利用	◎	◎	◎	◎	徹底できている。今後も継続する。
環境配慮工法の開発と提					(目標達成)
・工事分野別の技術・ノ ウハウの収集	◎	◎	◎	◎	騒音・振動の抑制のため低騒音・低振動の機械を使用している (リースも含む) 更に自然素材を扱った工法のノウハウの収集 と熟知を図る。今後も継続。
・環境に配慮した商品と 技術を施主に提案	◎	◎	◎	◎	自然素材の珪藻土やしっくい、和紙などの提案、床材も無垢材 を使用する提案を積極的に行っている。他、瓦屋根や板張り外 壁など。古材の再利用。

2024年度 環境経営計画

取り組み計画	者任責
二酸化炭素排出量の削減	総務部
電力・ガソリン・軽油使用量の削減（各項目による）	
電力使用量の削減	総務部
・空調温度の適正化（冷房27℃暖房20℃）	
・サーキュレーターの使用	
・不要照明の消灯	
・設備の空転禁止	
ガソリン使用量の削減	工事部
・アイドリングストップ	
・急加速・急停車の防止	
・リモートワークの推進	
・効率的な移動	
軽油使用量の削減	環境管理責任者
・重機の空ふかしの禁止	
・アイドリングストップ	
・空気圧、オイル等の点検	
一般廃棄物の削減	総務部
・ミスコピーの防止と再利用	
・分別の徹底	
・社内共有ホルダでペーパーレス化	
・リサイクルの推奨	
産業廃棄物の削減	環境管理責任者
・分別によるリサイクル推進	
・仮設資材の再利用の推進	
（産業廃棄物について）	
・再生資源化施設への搬入	
・素材ボックスの設置	
・保管場所の掲示板を設置	
・マニフェスト管理	
水使用量の削減	総務部
・節水の周知徹底	
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	
・植物への水やりは雨水を利用	
環境配慮工法の開発と提案	工事部
・省エネ住宅の推奨（長期優良住宅・ZEH住宅・GX志向住宅）	
・環境に配慮した商品と技術を施主に提案	

VIII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

遵守評価日2024年9月30日

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守 有資格者による石綿事前調査と報告	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
フロン排出抑制法	設備の適切な設置、設備点検、点検記録、点検記録の保管、廃棄時の適正処理	遵守
浄化槽法	特定行政庁への設置届出、保守点検基準の遵守、清掃水質検査基準の遵守	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2015年にエコアクション21の認証・登録を受けてから9年経過しました。これまで大きな目標である地球の温暖化防止と環境負荷の少ない社会づくりの一端を担えればとの思いで、環境活動に取り組んでまいりました。

今年度は工事内容や事務作業の増加により、二酸化炭素の排出量は未達成となりましたが、環境経営方針及び環境経営計画、実施体制の見直しは行っておりません。

これからも弊社の特徴である高性能な『自然素材をいかした家づくり』を通して、持続可能な環境問題に取り組む所存です。



令和6年9月30日
代表取締役 船越 裕司

X. 環境活動事例

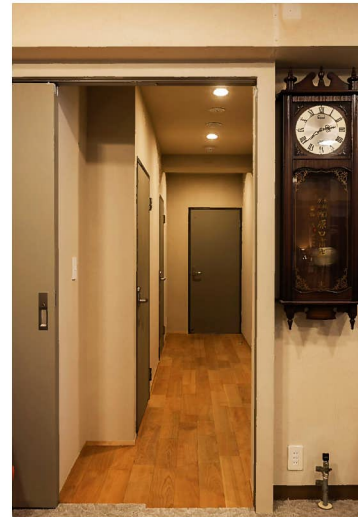
(1) 環境に配慮した施工例

店舗新築(外壁)杉板貼り



民宿のリノベーション

(床)無垢木材(壁)珪藻土



住宅新築(外壁)漆喰と焼杉 (性能)長期優良住宅・高気密高断熱



RC造フルリノベーション

(床)無垢木材(壁)和紙貼り

(性能向上)・断熱工事

・内窓設置



未晒し蜜蝋ワックス 自然塗料



(2) 重機・車両の優先使用



優先使用重機
排ガス適合重機



優先使用重機
排ガス適合重機



優先使用車両
アイドリングストップ車両